

# みんなが活躍できる

自分も、みんなも、活躍できる場が地域にあったらいいな。  
いくつになっても、誰でも参加できて、楽しくて、地  
域のためにもなること。そんなきっかけがあればいいな。  
そんな仲間に出会えたらいいな。

「みんなが活躍できる場」とはどんな場所で、何が必  
要なのでしょうか？ 事例をもとに、その効果と今後の  
まちづくりについて、一緒に考えてみませんか？

# 場づくり



大和街道 竹とうろうの夜  
妙寺公民館



編み物ボランティアの作品  
橋本市市民活動サポートセンター

■日 時：令和5年 1月29日(日)13:45~16:00

■場 所：かつらぎ総合文化会館 AVホール (伊都郡かつらぎ町丁ノ町 2454)

■内 容：

①事例報告 橋本市市民活動サポートセンター 福本美千代さん  
妙寺公民館 館長 大浦俊一さん

②パネルディスカッション

コーディネーター わかやまNPOセンター 理事長 志場久起さん

■主 催：かつらぎ町教育委員会生涯学習課

## <事例報告1>橋本市市民活動サポートセンター 福本美千代さん

きっかけは大量に寄付された毛糸でした。「そうだ、使ってくれる人を募集しよう」と思いつき、「編み物ボランティア」を募集。予想以上の反響があり、70代～80代中心の20名程のメンバーが集まりました。月1回編み物の日を設け、好きな作品を編みます。熟練の技を持つメンバーで、次々と新しい作品が生み出されます。今度は作った作品をどうしようかと思案。ガチャガチャで当たりが出たら好きな作品を持って帰ってもらうようにしました。作品はInstagramで紹介。一人暮らしのメンバーは、編み物の日にメンバーに会えるのを楽しみにしているとのこと。今は月2回活動中です。

## <事例報告2>妙寺公民館 館長 大浦俊一さん

令和3年の春、妙寺を愛する有志による会「妙寺まちづくりの会」が立ち上がりました。妙寺のまちを盛り上げたい地域の有志、小中高校、自治区、町内会、児童館、公民館等がゆるやかに連携し、「大和街道 竹とうろうの夜」イベントを開催しました。小学生は一人ひとつの竹灯籠をつくり児童会で配置のレイアウトを考え、中学生は竹のモニュメントをつくり、高校生は飾る花を育てるなど、みんなが自分の特技とアイデアを持ち寄り、無理なく楽しく力を合わせ、イベントは大盛況に終わりました。妙寺公民館は、コロナ禍でも誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所でありたいと日々奮闘しています。

■参加費：無料

■定員・〆切：先着100名（1/25までに、お申込みください）

■申込方法：FAX、Eメールまたは電話にて、以下の申込書の内容をお知らせください。

■申込先：かつらぎ町教育委員会 生涯学習課

電話 0736-22-0303・FAX 0736-22-7102（電話は、月～金曜9時～17時）

Eメール：gakusyu-syakyo@town.katsuragi.wakayama.jp

こちらから申込フォームが開きます。「ご用件」の欄に、事業名をご記入ください。↑



————— FAX用 申込書 —————

事業名	まちづくり講演会「みんなが活躍できる場づくり」		
(ふりがな)			
お名前			
所属 (あれば)			
ご住所	〒		
電話		携帯	
Eメール			

